



み い な

みんなで

いっしょに

なかよく

2014.3.5
vol.35



高校生のボイスリレー 第4弾



私たち高校生が描く
「男女が助け合う社会」について、
2ページに意見が
掲載されています。



も く じ

- 高校生のボイスリレー…………… 2
- 地域で活躍する女性リーダーを目指して…………… 3
- 栃木県からのお知らせ・みいな編集委員募集… 4



清峰生のアンケート

結果
抜粋

成長させるのは、
高いココロザシ。

コンセプト

男女が互いに認め合い、助け合う男女共同参画社会を実現するためには、次代を担う若い世代が、関心を持ちその意義を理解することが大切です。「みいな」を通して、これから自分たちがつくる“男女共同参画社会”について考えるきっかけになればと思います。今回は、専門分野を学び、高度な資格取得に挑戦するなど、学んだ知識・技術を将来に活かしたいと夢溢れる生徒23名にインタビューしました。

男子 女子

Q1 今の専門学科を選んだ理由と今学んでいることを将来どのように活かしたいですか。

物づくりが好きで、将来はすべての人に自分のつくったものを使ってほしい。

自宅が別荘地にあり変わった建物がたくさんあった事と、小中学校時代、絵を描いたりデザインを考えたりする事が好きだったので、設計を学ぼうと思った。



性別にとらわれないコミュニケーションが大切だよね！



みんなの意見も気になるね



Q2 どんな経営者が好きですか。

社員を大切にし、実績に見合った評価をしてくれる人。

コミュニケーションがとれて、リーダーシップがある人。



Q3 10年後の自分を想像してみてください。職業・働き方・生活・人生など…

現場監督で後輩たちに指導している。

自分の技術が活かせる職に就けていると思う。

女性社長の下で働いてるかも～



Q4 今の日本社会は、男女平等だと思いますか。どんなところが、平等あるいは不平等ですか。

男女共同参画社会基本法があり、周りから見れば差別はなさそうだけど、個々でみるとやはり不平等だと思う。基本的に女性に甘く、ハンデがある。

平等に見えるが、建設現場などでは女性は敬遠されることが多い。



日本人はシャイって言われるよー

Q5 今の日本の社会制度や風潮、固定観念に対して、感じること。

現在は、ほとんどの社長が男性なので、もっと女性の社長が増えてもいいと思う。

社会に出ると、自分の意見を遠慮して言わない人が多い気がする。意見を言える人が少ない。

身近な男女平等って何があったかな



Q6 男女が対等な関係になるため、そしてお互いに助け合うためには、あなたは何が必要だと思いますか。

コミュニケーションが必要だと思う。相手の意見を受け入れたうえで、自分の意見を述べるのが大切だと思う。

Q7 将来あなたが結婚したら、どのような家庭やパートナーとの関係を築きたいですか。

パートナーも結婚するまでは、自分の夢に向かって学んできたと思うので、パートナーの夢・職業も大切にしたい。

他校の人達はどんな考えをもっていたのかな…？



Q8 「男女共同参画」という言葉の意味をどのように理解していますか。

男女が差別されることなく、平等に社会を作ること。

男女平等の社会。



Q9 社会に出たら挑戦したいことは何ですか。

自分の能力を他人に認められるように、男女という概念にとらわれず、できることなら何でもやってみたい。

まだまだ男子生徒が多いので、女子生徒が増えることを願っています！





地域で活躍する女性リーダーを目指して

栃木県では、地域に貢献する実践的な青年リーダー及び女性リーダーの育成を目指し、「栃木県次世代人材づくり事業」を市町と共同で実施しています。今年度、本市では、女性リーダー育成部門から2名参加しましたので、研修の成果について報告します。

- 研修期間：平成25年7月～平成26年2月
- 県外研修(日本女性会議)：平成25年10月10日～12日

「とちぎ次世代人材づくり2013 ～新しい自分に会いに行こう!～」



はるかぜグループと林さん(一番右)

“輝きながら生きていく” 林 美幸 (埼玉)

研修から学んだこと

今回参加させていただいた研修では、リーダーとして必要なスキルだけでなく、たくさんの事を学ばせて頂き大変有意義な研修となりました。この研修に参加することにより出会いが大きな宝物となり、これからの人生において大切な財産となりました。

また、研修で出会った方々のリーダー論、人との関わり方、自分自身の生き方など全てが私自身に刺激となり、これから輝きながら活動する活力となりました。

今後の活動に向けた目標

現在、国では女性の活躍による経済活性化を推進するために、「『女性の活躍促進による経済活性化』行動計画～働く『なでしこ』大作戦～」を発表しており、私たち女性が活躍する準備は整ってきています。私たち一人ひとりが地域や身の回りで出来る“202030※”の実現に向けての一步を踏み出していきたいと思えます。未来に繋げる一つとして、地域の宝である子ども達が自分の住む街に誇りを持てるような地域社会の実現。そのために、現在活動している家庭教育のボランティアを充実させ、自分が自信を持って活動する背中を子ども達に見せ、笑顔が絶えない未来を築いていきたいと思えます。

最後に、研修の一環として参加した日本女性会議が、数十年後にこの素敵な那須塩原市で開催されることを夢に見ながら、この研修に参加できたことに感謝したいと思います。皆様、ありがとうございました。

※ 202030 … 「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位*に女性が占める割合を、少なくとも30%程度とする」政府目標
* 「指導的地位」の定義… (1) 議会議員、(2) 法人・団体等における課長相当職以上の者、(3) 専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者とする。(参照：内閣府男女共同参画局ホームページ)

女性リーダー育成部門では、県外現地研修として「日本女性会議」に参加し、テーマに沿った活動の研修を行いました。今年度の日本女性会議は、阿波踊りと藍染で有名な徳島県阿南市で開催されました。



「日本女性会議2013 あなん」 2013.10.10～12

「いきいきわくわく、小さなまちから 新たなステージ!」に参加して 櫻井 敬子 (一区町)



日本女性会議の懇親会にて
櫻井さん(右から3番目)

1. 分科会について 郷土の人・自然・食でつくる絆 これが阿波の食育だ!

温かい人情あふれる徳島ならではの食育のあり方について勉強になりました。『すこやか だんらん ち産地消』徳島「す・だ・ち」大作戦として、「食」を通して、家族はもとより広く地域の人々のつながりや絆を深めていることを学びました。また、次代を担う子ども達にふるさとの味を伝承し、健全な食生活の指導や食の安全・安心の推進を行い、学校給食における地産地消の実施及び食育活動の促進と食に関するネットワーク化の推進も進めています。さらに、野菜摂取量アップ運動の一環として、野菜を一日350g食べることなど、学ぶことが多い分科会で、パワーを頂きました。

2. 全体会・交流会について

記念講演では、徳島県出身の料理研究家、浜内千波さんによる『男女が織りなす食育～作り手の心・いただく心～』と題した講演がありました。30周年記念シンポジウムでは、徳島大学講師山本恭代さんの男女共同参画の意識啓発やワークライフバランス実現のための支援活動を行う徳島大学AWAサポートセンターの取り組み、大学での男女共同参画推進状況の取り組みが印象に残りました。

日本女性会議に参加できたことに感謝します。たくさんの人との出会いや気づき、阿南市の皆さんの心こもったおもてなし。ありがとうございました。

今後、益々男女共同参画が推進されより良い社会になることを願い、私も那須塩原市から取り組みたいと思えます。



日本女性会議2013
あなんPR用Tシャツ



～栃木県からのお知らせ～

事業主の
みなさまへ

これからは、仕事と家庭の両立が求められる時代です。
従業員のために、何ができるか考えてみませんか？
あなたの宣言が会社を変えます！

「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」企業を募集しています

本市では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を進めております。実現するためには、企業や事業所において今実践できる小さな取組の積み重ねが成果につながります。

～概要～

栃木県では、**従業員の仕事と家庭の両立を応援**するために、企業や事業所が**これから取り組もうとする**内容を「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」として募集しています。

この「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」の目的は、**企業等の責任ある方が宣言**することにより、仕事のみでなく家庭も重視する雰囲気をつくり、仕事と家庭の両立が可能な雇用環境の実現につなげることにあります。

登録証書と登録マークが交付されます！

宣言の応募はかんたん！

◆お問い合わせ◆

・那須塩原市市民協働推進課
・大田原労政事務所

☎0287-62-7019
☎0287-22-4158

◆宣言例◆

- ☆育児休業を2年にするぞ！
- ☆ノー残業デーをつくるぞ！
- ☆年次休暇の計画的な取得を推進しよう！
- ☆地域活動の積極的参加を推進しよう！
- ☆復職の相談体制を充実させるぞ！

メリット

- ☆栃木県のホームページで紹介される！
- ☆登録マークを使って自社のアピールができる！
- ☆従業員のやる気がアップする！
- ☆積極的に取り組むことで、従業員の仕事の効率が上がる！
- ☆企業イメージの向上により、能力ある人が集まる！



パパと初めてのお風呂

お風呂よ！
初めは今日のは

できるかな？

病院で教えてもらったとおり
できるかな？

パパと同じくらい
"キト"キしてるお！

本当は、ハラハラ
"キト"キだよ...
難しいな...

パパ、どうだった？

パパに任せれば大丈夫だよ。簡単さっ!!

作:miina 絵:daisuke

平成26年度“みいな市民編集委員”

募集

「みいな」に載せる記事の取材や構成などを行います。
あなたも“みいな編集委員”になって、自分の力を活かしてみませんか？

応募資格 市内在住または市内に勤務している20歳以上の人で、平日日中の編集会議(年20回程度)に参加できる人

編集委員期間 平成26年4月～平成27年3月まで(1年間)

募集人数 2名

募集締切 3月28日(金)

問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287-62-7019

編集後記

～素敵な出会いがたくさん！～

♥今回、初めてみいなの編集委員をさせていただきました。取材を通して、男女が力を合わせ、時にはお互いの足りない部分を補いあいながら、有意義なライフワークを築いていくことが大切だと感じました。とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

♥男と女が共に輝けるまちであることを、“みいな”から発信できたらいいなと思います。

♥「みいな」のおかげで、『一期一会』のありがたさと、心に染み入る大切な時間をありがとうございました。

♥もっと広げられ“みいな”の輪。優しい笑顔が待っている。

♥今年の「みいな」は、高校生のボイスリレー・湯けむりリレーを企画し、取材に何い、貴重な『一期一会』がありました。ありがとうございました。

♥編集委員に参加して“みいな見たよ”って言葉が嬉しくて、笑顔が溢れ素敵な時間を過ごせました。

編集委員/星 明美、印南良子、阿久津一志、櫻井敬子、柳場美枝子、渡邊小夜子
編集/みいな編集委員会 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共興社108番地2 TEL:0287-62-7019
Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp